

ディリージーザスニュース #018

シメオンはイエスが救世主であることを認める ルカ2.21-35

21 八日目に割礼を施す時が来たので、ヨセフは、その子が宿る前に天使が彼に与えた名前に従って、その子にイエスという名を付けました。

22 モーセの律法で定められた清めの儀式の期間が満ちたとき、ヨセフとマリアはイエスをエルサレムに連れて行き、主に献げました。23 主の律法に「すべての初子は主に聖別されなければならない」（出エジプト記 13.2、12、15）と書いてあるとおりです。24 そして、主の律法に述べられているとおり「鳩のつがい、または鳩のひな二羽」（レビ記 13.7）を犠牲として捧げました。

25 見よ、エルサレムにシメオンという人がいた。この人は正しい人で信仰深く、イスラエルの慰め（メシアの来臨）を待ち望んでいた。聖霊が彼の上にとどまっていた。26 彼は、主のメシアを見るまでは絶対に死なないであろうことが、聖霊によってはっきりと知らされていた。

27 ザカリヤは聖霊の導きのもとに神殿の境内に入った。両親が幼子イエスを連れて来て、律法の慣習に従って行なおうとしたとき、28 シメオンは彼を腕に抱き、神をほめたたえて言った。29 「主なる神よ、あなたは今、約束どおり、この僕を平安のうちに去らせてくださいます。30 わたしはあなたの救いをこの目で見ました。31 それはあなたがすべての国々の人々の目の前で備えられたものです。32 それは異邦人への啓示の光、あなたの民イスラエルの栄光です。」

33 幼子の父と母は、幼子について語られていることに驚嘆し続けた。34 すると、シメオンは彼らを祝福し、母マリアに言った。「見よ、この幼子は、イスラエルの多くの人々を倒したり立ち上がらせたりするために、また、反対されるしとなるために、定められている。35 多くの人の心に秘められた考えが明らかにされ、あなた自身の魂も剣で刺し貫かれるであろう。」

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルーカ = ^L、ジョン = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書の書を識別します。さらに、**赤い斜体はイエスの言葉を示します。**

コンテキストダイジェスト

位置	エルサレムの神殿
----	----------

THE DAILY JESUS NEWS

An ATJ Ministries Publication by John Wright

時間	イエス誕生の8日後
の生涯の段階	第二段階：宣教の準備の30年間
第3章	イエスの誕生
セクション #018	シメオンはイエスが救世主であることを認める

イエスの人格と働きが救世主であるというもう一つの強力な確証は、シメオンの証言を通して私たちに与えられました。ヨセフとマリアがイエスに割礼を施すという律法（2.21）と、長子に定められた供え物を捧げるという律法の下での儀式上の義務を果たしたときに、それが起ったことに注目してください（2.22-24）。従順は神からの新たな啓示につながり、不従順は私たちのさらなる成長を妨げ、神の懲罰の下に置きます。

イエスは律法の下に生まれ、律法の下にいる人々を贖うために生まれました（ガラテヤ4:4-5）。イエスは、旧約の儀式、道徳、靈的、市民的法のあらゆる点と点を完璧に守った歴史上唯一の人物です。ヨセフとマリアはイエスの従順さにおいて親としての役割を果たしました。これが、彼らがメシアの住まいとして選ばれた理由の一部でした。

シメオンは、当時としては異例なほど聖霊との親密さを持った人物でした。これは、イエスを信じるすべての人に聖霊の豊かさを与えるという、イエスの救世主としての働きを予示するものでした。聖霊はシメオンを絶えず導き、シメオンに人生を変える啓示を与えました。シメオンは死ぬ前に実際に救世主を見ることになるのです。

シメオンは毎日、メシアを探して神殿に通っていました。この日、聖霊が特別な方法で彼を導きました。シメオンが赤ん坊のイエスを見たとき、聖霊ははつきりと彼に語りかけました。「この赤ん坊はメシアです！」シメオンがメシアを赤ん坊として見ることを期待していたとは思えません。しかし、彼は聖霊によって、この小さな新しい命の中に、神の救いそのものを実際に見ていることを認識しました。覚えておいてください…救いは物ではなく、神ご自身なのです。

異邦人であるルカは、シメオンが、この救い（イエス）は「すべての国々の目の前で準備され、異邦人への啓示の光、あなたの民イスラエルの栄光となる」（2.31-32）と預言したことについて注目しました。神は全世界を愛しておられます。

イエスは律法の下に遣わされ、律法の下にある人々を救済しました。なぜなら、イエスの使命は世界の救世主となることだったからです。イエスのメシアとしての使命はユダヤ人を対象としていましたが、ユダヤ人に限定されたものではなく、すべての異邦人にも向けられたものでした。メシアの使命に関するこのような洞察は、一般的なユダヤ人の期待とはまったく異なり、シメオンの人生における聖霊の真の啓示と指導を通じてのみもたらされました。それはまた別の確証的なしるしでした。

イエスの誕生が、神が人間として来られたことを、多くの確証の言葉や出来事によって確認されたことは、本当に驚くべきことです。

応用：

イエスを明らかにし、知らせ、栄光をたたえるのは、シメオンに対してしたように、今も聖霊の働きです。実際、私たちは今日、シメオンが考え始めたよりもはるかに多くのことをイエスについて理解し、個人的に体験することができます。だからこそ、私たちはこの「DAILY JESUS NEWS」で、イエスの生涯を一日ずつ追っていく旅をしているのです。しかし、イエスを私たちの救いとして完全に体験し、栄光をたたえるためには、シメオンと同じように聖霊に満たされ、導かれる必要があります。

あなたは神の恵みによって聖霊に満たされていますか？

今、あなたの人生において聖霊の働きと実りを制限しているものがあるとすれば、それは何でしょうか。今日、それについて何をするつもりですか。